

NISTEP科学技術予測調査のうち、特に、デルファイ調査(科学技術の未来像)への協力について

デルファイ調査においては、実現が期待される科学技術トピックについて、アンケート形式で多数専門家による評価を実施します。

同じ回答者に同じ質問を2回繰り返す。2回目には、1回目の集計結果が示される。回答者は、1回目結果を見つつ自身の回答を再考する。これにより意見が収れんする。

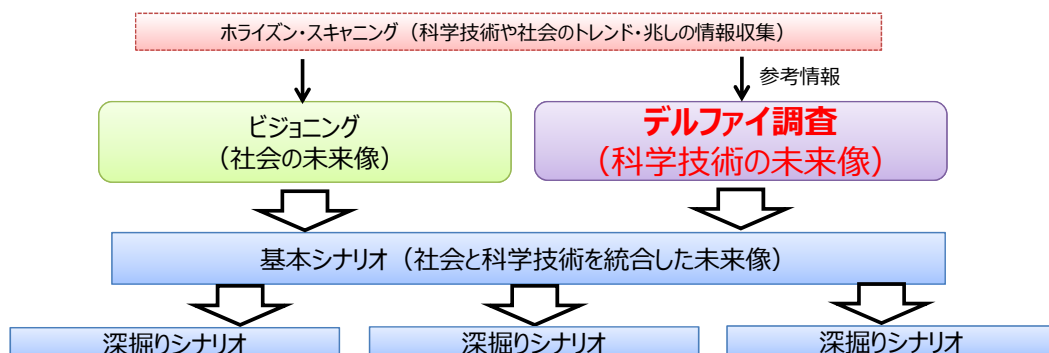
ニューズメールによる、学会議会員、連携会員、学協会へのアンケートサイトの周知に協力する。



科学技術予測調査の概要

- ◆ 我が国では、1971年からほぼ5年ごとに、科学技術をベースとして今後30年間に展望する「科学技術予測調査」を実施。文部科学省科学技術・学術政策研究所は、5回目の調査（1992年）から担当。
- ◆ 科学技術イノベーション政策立案のためのエビデンスを提供することを目的として、2050年までの30年間に展望する、11回目の調査を2017～2019年に実施。
- ◆ 特徴は、多様なステークホルダーの参画、ICTを活用した情報収集・分析、関係機関等との連携。

調査の構成

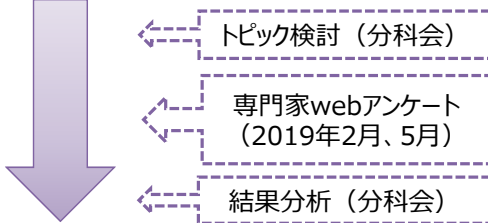


<目的>

科学技術トピックの抽出と評価

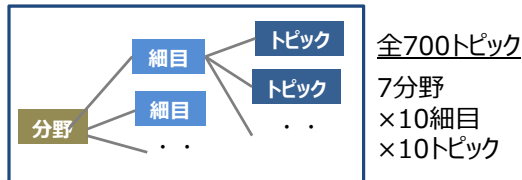
<内容>

・実現が期待される科学技術トピックを分科会で設定、多数専門家が評価



◆ 2050年までの科学技術

- ・科学技術リスト
- ・科学技術の重要度、実現見通しなど



[科学技術トピックとは]

- ・ 将来社会にとって重要と考えられる科学技術
- ・ 研究開発課題・プロジェクトの内容を簡潔に表現

[アンケート方法]

- ・ 同じ回答者に同じ質問を2回繰り返す。
- ・ 2回目には、1回目の集計結果が示される。回答者は、1回目結果を見つつ自身の回答を再考する。
- ・ これにより意見が収れんする。

健康・医療・生命科学
農林水産・食品・バイオテクノロジー
環境・資源・エネルギー
ICT・アナリティクス・サービス
マテリアル・デバイス・プロセス
建築・土木・都市・交通
宇宙・海洋・地球・科学基盤

細目A 細目B 細目C 細目D 細目E

分野、細目、トピックを自由に選択して回答
(分野や細目を跨いで回答可)

健康・医療・生命科学 細目F
<トピック1>
Q1:専門性
Q2:重要度
Q3 ~ Q6

農林水・食品・バイオ 細目B
<トピック1>
Q1:専門性
Q2:重要度
Q3 ~ Q6

アンケート回答者群

◆ 回答者群として、以下の3群を想定

① 専門家ネットワーク

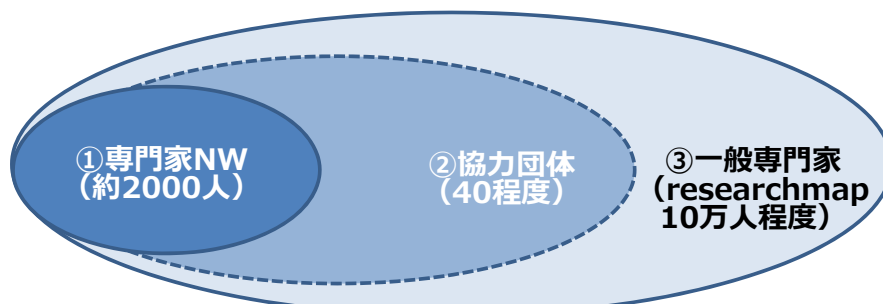
- ・ コア回答者群。NISTEPから専門調査員に委嘱。

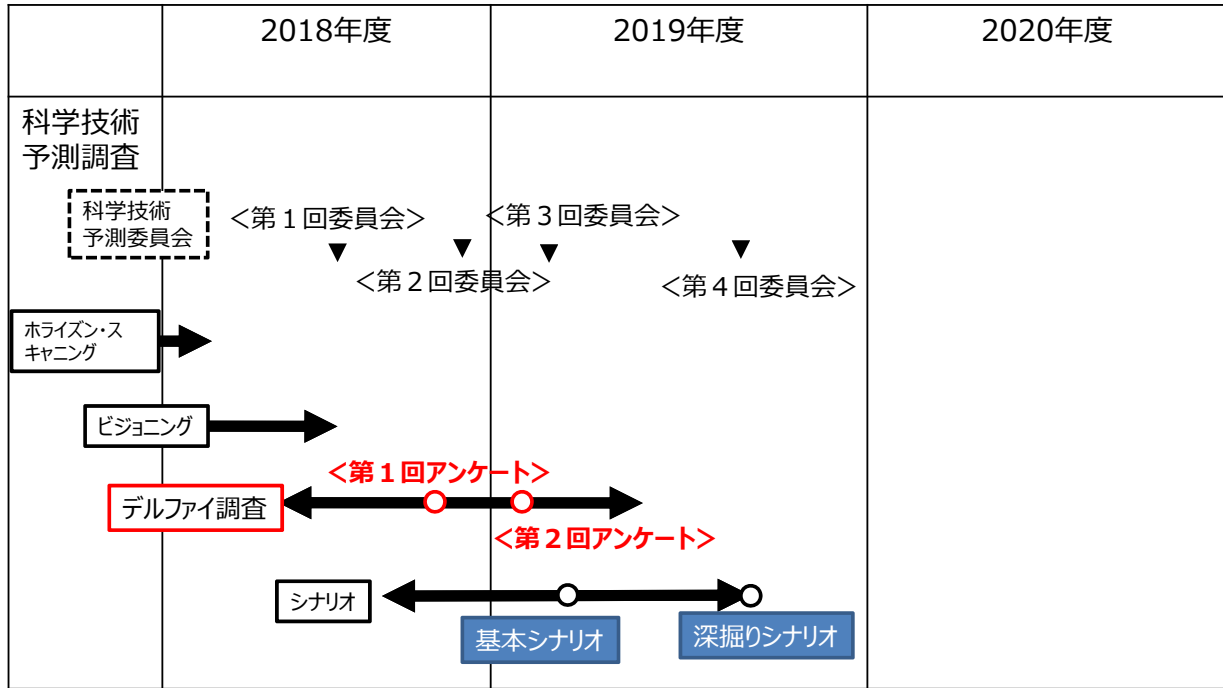
② 協力団体

- ・ 積極的に協力を依頼する回答者群。分科会委員等からの推薦に基づき、学会等（各分野5団体程度、全体で40団体程度）に周知を依頼。

③ 一般専門家

- ・ 既存メーリングリストなどで広く周知する回答者群





(参考) webアンケートの画面イメージ

分野・細目選択

- ICT・アナリティクス
 - 人口知能(99)
 - ビジョン・言語処理(99)
 - デジタルメディア・データベース(99)
 - ハードウェア・アーキテクチャ(99)
 - インタラクション
 - ネットワーク(99)
 - ソフトウェア(99)
 - HPC(99)
 - 理論(99)
 - サイバーセキュリティ(99)
 - ビッグデータ・CPS・IoT(99)
 - ICTと社会(99)
- 健康・医療・生命科学
- 農林水産・食品・バイオテクノロジー
- 宇宙・海洋・地球科学基盤
- 環境・エネルギー
- マテリアル・デバイス・プロセス

トピック選択と回答

民事調停の場で、紛争当事者の事情を聴き、調停案を提案できる人工知能調停補助員

未回答 課題番号：1001002

語学学校等の現場で外国語教育を行える人工知能 (社会実装：語学学校での外国語教育の過半数がAI教師によって教えられるようになる)

課題番号：1001001 未回答

はじめは幼児と同等の知覚能力と基礎的学習能力と身体能力をもち、人間の教示を受けて、外界から情報を取り入れながら、成人レベルの作業スキルを獲得することのできる知能ロボット

専門性 📍

この課題に対するあなたの専門性を教えてください

● 高 中 低 なし

重要性 📍

我が国にとって、この課題の重要性をどのように考えますか？

● 非常に高い 高い 低い 非常に低い わからない

国際競争力 📍

この課題について、我が国の国際競争力をどのように考えますか？